



国際交流、多文化共生、宣言

国際交流

問合先 文化芸術推進課文化芸術推進担当

☎5744-1226

●姉妹都市、友好都市、友好協力関係都市との交流

姉妹都市のセーラム市(アメリカ)と友好都市の北京市朝陽区(中国)、友好協力関係都市の大連市(中国)へ訪問団を派遣するなど国際交流を深めています。

多文化共生

問合先 地域力推進課区民協働・多文化共生担当

☎5744-1227

●おおた国際交流センター(Minto Ota)

所在地 蒲田4-16-8 2階 ☎5744-1227

43ページ施設ガイドをご覧ください。

●大田区多言語相談窓口

所在地 蒲田4-16-8 2階

おおた国際交流センター内

☎6424-4924

18ページ相談ガイドをご覧ください。

●ボランティアの募集

問合先 (一財)国際都市おおた協会

☎6410-7981

所在地 蒲田4-16-8 2階

おおた国際交流センター内

通訳・翻訳、イベント協力などを行うボランティアを募集しています。

姉妹都市、友好都市、友好協力関係都市

●姉妹都市「アメリカ合衆国マサチューセッツ州セーラム市」

昭和59年に、大森貝塚を発見したモース博士が館長を務めたセーラム市のピーボディー博物館(現ピーボディー・エセックス博物館)と、大田区立郷土博物館が姉妹館提携を始めました。これが発展して、平成3年、大田区とセーラム市は姉妹都市となりました。

セーラム市は、マサチューセッツ州の北東に位置し、人口約4万人で、港に面した静かなたたずまいの美しい街です。

一般公募の区民を中心とした親善訪問団が同市を訪問し、また、セーラム市からも市民団や学生団が来区するなど、両都市間の交流が続いています。

●友好都市「中国・北京市朝陽区」

大田区と朝陽区の交流は、昭和51年に始まり、両区の区長の相互訪問や青少年交流を積み重ね、友好関係を深めてきました。そして、平成10年大田区と朝陽区は友好都市となりました。

朝陽区は北京市の東部に位置します。総面積は約470km²で、人口は約345万人です。2008年北京オリンピックのメイン会場および2022年冬オリンピック開幕式会場があり、目覚ましい発展を遂げている区です。

平成12年から、両区の青少年友好訪問団が、相互訪問をするなど友好を深めています。

●友好協力関係都市「中国・大連市」

大田区と大連市は、従来から産業経済分野で豊かな交流が行われていたことをきっかけとして、平成21年に、友好協力関係都市となりました。

大連市は人口約608万人、面積約12,573km²の、中国の東北、華北、華東地域と世界各地をつなげる海上のゲートウェイの役目を担っている都市です。

両都市の友好交流を進めるとともに、青少年の国際的視野を広め、日中両国の相互理解を促進することを目的に、青少年の訪問団の派遣、受入れを実施しています。

●友好都市「長野県東御市」

大田区と東御市(現東御市)との交流は、区が平成4年に大田区休養村とうぶの建設を決定し、施設建設前から地元開催の「巨峰の王国まつり」と「OTAふれあいフェスタ」に住民同士が相互に参加したことからは始まりました。平成8年6月に災害時に助け合う協定が結ばれ、同年9月20日には友好都市提携の調印が行われました。平成16年、「東御市」と「北御牧村」が合併し「東御市」になりました。

人 □: 28,533人(令和8年4月1日現在)

面 積: 112.37km²

特産品: 「巨峰」、「ワイン」、「くるみ(シナノグルミ)」、「白土馬鈴薯」など

●友好都市「秋田県美郷町」

平成元年、区内六郷地区の西六郷青少年少女合唱団が当時の六郷町(現美郷町)を訪れ演奏会を開き、地名が同じであることをきっかけに交流が始まりました。平成16年には「六郷町」「千畑町」「仙南村」が合併し「美郷町」になりました。平成17年11月5日、六郷同士で育まれた交流を礎として美郷町と大田区が友好都市となりました。

人 □: 17,312人(令和7年3月末現在)

面 積: 168.32km²

特産品: 名水を利用した「日本酒」や「ニテコサイダー」、「美郷米」など





●友好都市「宮城県 東松島市」^{ひがしまつしまし}

宮城県東松島市との交流は、平成 23 年 3 月の東日本大震災の際に、大田区が「被災地支援本部」を設置し東松島市を支援したことから始まりました。

「OTA ふれあいフェスタ」へ参加するなど相互交流を深め、平成 28 年 11 月に友好都市となりました。

人 口：37,124人(令和8年4月1日現在)

面 積：101.30km²

特産品：「牡蠣」、「海苔」など

宣言

●大田区平和都市宣言

大田区は昭和 59 年 8 月 15 日、世界の恒久平和を願い「平和都市宣言」を行いました。区はこれを記念して、平和の像「愛し子」を建立しました。また「平和記念式典」など記念行事を毎年行っています。

平和って なあに
しあわせな ことよ
しあわせて なあに
自由で楽しいくらしができること
だから 世界中の人と 力をあわせて
大切な平和を守らなければいけないの
地球上どこへ行っても 笑顔があるように…
この人類共通の願いをこめて
大田区は平和憲法を擁護し核兵器のない
平和都市であることを宣言する

昭和59年8月15日 大 田 区

●スポーツ健康都市宣言

大田区は平成 24 年 6 月 30 日、スポーツを通じて区民が豊かで健康的な生活を営み、まちが賑わいと活力を増していくことを願い「スポーツ健康都市宣言」を行いました。記念事業を毎年行い、スポーツ健康都市おおたを推進していきます。

スポーツしよう
みんな 心も からだも 元気にしよう
スポーツ楽しもう
みんな 世界の人と 手をつなごう
スポーツで健康になろう
いきいき 輝く笑顔いっぱい
まちにしよう

区民がスポーツを通じて健康で豊かに暮らし、まちが賑わいと活力を増していくことを願い、大田区をスポーツ健康都市とすることを宣言する。

平成24年6月30日 大田区

●国際都市おおた宣言 ～地域力で世界にはばたく～

大田区は平成 29 年 3 月 12 日、「国際都市おおた」の実現に向けて区の姿勢をわかりやすく発信するため「国際都市おおた宣言」を行いました。この宣言を通じて「国際都市おおた」の魅力である「観光」「多文化共生」「産業」の存在感を広く国内外へ発信しています。

おもてなしの翼を広げ
世界中の人々を歓迎しよう
暮らしが息づく多彩な魅力あるまちとして
訪れる人を迎えます

ふれあいの翼を広げ
多様な文化を分かち合おう
互いの個性を認め誰もが活躍できる
笑顔あふれるまちをつくります

みらいの翼を広げ
豊かな明日をともにつくろう
おおたが誇る匠の技が世界の期待に応え
新しい産業をつくります

大田区は、日本のゲートウェイとして、
地域の力を結集し、新たな時代を切り拓いて、
世界にはばたく「国際都市おおた」を
宣言する。

平成29年3月12日 大田区

●鉄道と魅力的なまちづくり宣言 ～夢あふれ誰からも選ばれる都市 「おおた」を目指して～

大田区は令和 4 年 12 月 21 日、大田のまちが将来にわたり持続的に発展するよう「鉄道と魅力的なまちづくり宣言」を行いました。鉄道ネットワークをさらに充実させ、夢あふれ誰からも選ばれる都市「おおた」を目指した魅力的なまちづくりに取り組みます。

つなげていこう
環境に優しい 鉄道ネットワークを
つくっていこう
鉄道とともに発展する おおたのまちを
のこしていこう
人が交流しにぎわう 魅力的なまちを

東京国際(羽田)空港を擁し、多様な産業が織りなし成長してきた大田のまち。その発展を支えた鉄道網。現代においても、鉄道は、環境に優しく人々の生活に欠かせない利便性の高い公共交通である。

大田のまちが将来にわたり持続的に発展するよう、鉄道ネットワークをさらに充実させ、夢あふれ誰からも選ばれる都市「おおた」を目指した魅力的なまちづくりに取り組むことを宣言する。

令和4年12月21日 大田区